

Regular Concert

the 28th



1986年2月22日
千葉市民会館大ホール
開場PM1:30 開演PM2:00

県立千葉工業高等学校吹奏楽部

千葉工業高校吹奏楽部

第28回 定期演奏会



~~~~~ 部員あいさつ ~~~~

本日は、お忙しい中、多数お出で下さいまして、誠にありがとうございます。
私達部員一同、毎年の少人数にもかかわらず、真面目に、ひたすらに練習にはげんで
参りました。私達は、真夏の暑い日、汗で手から楽器がおちそうになっても、真冬の寒い
日、手が凍りつきそうになっても、何と外で練習しているのです。この汗と涙としもや
けの結晶を、どうかみなさん最後まで聞いてやって下さい。そして、また、暖かい拍
手などを頂けましたら、今後のはげみにもなるかと思います。宜しくお願ひします。



校長先生のお言葉



校長 段木正視

恒例の本校吹奏楽部による定期演奏会が、千葉市民会館で開催される運びとなった。関係各位の御尽力を多とするとともに、生徒部員達の休日も返上した猛練習の成果の発表を心から喜ぶものである。

本校吹奏楽部の伝統は津田沼時代初期からのもので、この間、多くの顧問、先輩、部員達の吹奏楽の灯を守り育ててきた熱意、協和、努力が継承されてこの伝統がつくられたのである。吹奏楽に限らず、ひとつの灯を守り育てて、次の者に確実に渡していくという事業は個人の営みをはじめとして、社会や国の活動にとっても極めて大切なものである。たんに灯を消すまいとする努力だけでも高い価値のあることだが、その灯をより明るくして、より広い周囲を照らすことは並々ならぬ努力があってこそ実現できる。本校の吹奏楽部は県大会出場や定期演奏会はもとより、千葉県高校野球大会に懇請されて出場し、春・夏・秋の開会式、閉会式で活躍していることは周知のところである。大きな努力が、広く周囲を明るくしている一つのあらわれであろう。

本校は今年50年の歴史を綴ることになった、千葉県でもっとも古い工業高校として、その良き伝統は自他共に認められているところである。これからも本校は長い歴史を繋ぎ、良き伝統を継承していくことであろう。

私達、千葉工業高校に縁を有する者の責任は重い。

最後に本日の演奏会のために、わざわざ御臨席たまわった方々に心から感謝申上げる次第である。



顧問のあいさつ

山本義彦

本日はお忙しい中をご来場頂きまして、誠に有難うございます。本校吹奏楽部の定期演奏会も今回で28回目を数えることになりました。これも多くの方々の暖かいご支援、ご協力の賜と、心より感謝申し上げる次第です。

昨年は会場の予約等の事由から、予算会の中での文化会館にて演奏を行ったわけであります。が、やはり次回は例年と同じ形でやろうという部員間の強い要望もあって、早いうちから準備を進めて参りました。しかし、選曲やそのための準備となると、なかなか思い通りにはならず、焦りばかりが先に立つというのが現状でした。また、これまでの過程の中で、今のやり方では行き詰ってしまうということなど幾多の問題点がありましたが、幸いにして、講師にお願いした白尾君がOBということもあって、直面する問題に対し、献身的に努力され、何とか今日の演奏会も開かれる運びとなつたわけであります。

3年経つとメンバーが入れ替ってしまうというのは、スクールバンドの宿命であります。そんな中で、千葉工吹奏楽部の伝統を継承していくのが、いかに難しいことか身をもって感じる昨今であります。

本日の演奏もまだ未熟でお聞き苦しい点が沢山あろうかと思いますが、部員一同、力一杯演奏いたしますので、どうか最後まで耳を傾けてやって下さい。そして、きたんのないご意見、ご批評を頂ければ幸いに存じます。

白尾さんのあいさつと経歴

本日はお忙がしいところ多数お出で頂き、誠にありがとうございます。本校の講師としての2年目を迎え、生徒への指導の困難を感じつつも、部室での練習が、生活の中で多くの時間を占めるようになりました。その時間を生徒と共に、真剣に、頭も身体もクタクタになる程悩めることを、秘かに幸せに思っている今日この頃です。

昭和56年3月

千葉工業高校 情報技術科卒業

〃 4月

川崎製鉄株式会社 入社

現在 船橋吹奏楽団在籍



白尾さんに講師をお願いして、はや2年になりますが、今だに先輩・後輩関係が抜けきれずに、ついつい甘えてしまう私達なのです。問題ばかりのこの部活を見放さず、これまでにして下さったことを部員一同、心より感謝しています。講師としての知識も大変豊富で、クラリネット演奏も素晴らしい、とても尊敬できる方です。

年間活動

- S60 1月 本校予議会
3月 本校卒業式
4月 新入生歓迎演奏
7月 全国高校野球千葉県大会開会式、閉会式
8月 合宿
10月 千葉県産業安全衛生大会特別演奏
11月 アンサンブルコンテスト(Saxアンサンブル銀賞)
文化祭
S61 2月 第28回定期演奏会

PROGRAM

音 楽 道

第 I 部

吹奏楽のための 祝典音楽

作曲 広瀬 幸平
編曲 上埜 孝

ブルースク

作曲 小倉 朗
編曲 兼田 敏

幼い日の思い出

作曲 藤田玄播

第 II 部

懐かしのスクリーンミュージック特集

第 III 部

アルメニアンドンス

A・リード

Part I

Part II

第一回

祝典音楽

この曲は、1971年の秋に広瀬量平氏によって「祝典序曲」というタイトルで管弦楽のために作曲されました。そして、上野孝氏が駒沢大学吹奏楽部のために編曲され、「吹奏楽のための祝典音楽」ができあがりました。

この吹奏楽編曲の「祝典音楽」は、1982年の秋に尼崎アルカイックホールで行われた、全日本吹奏楽コンクールの際に、特別招待演奏の曲目として、上野孝指揮、駒沢大学吹奏楽部の演奏で初演されました。

作曲者
小倉 朗

大 楽 器

ブルレスク

作曲者
小倉 朗

日本風な旋律で景気のいいオーケストラ曲を、というNHKの依頼で、1959年に小倉朗氏によって作曲されたものです。短い序曲風でも舞曲風でもある躍進なこの作品は、兼田敏氏のみごとなスコアリングで、華麗で生き生きとした吹奏楽のサウンドになっています。原曲の作曲者、小倉朗氏は1916年生まれで、日本の現代音楽の先達の一人。「管弦楽のための舞踏組曲」「弦楽合奏のためのコンポジション」などは海外でも数多く演奏されています。

幼い日の思い出

作曲者

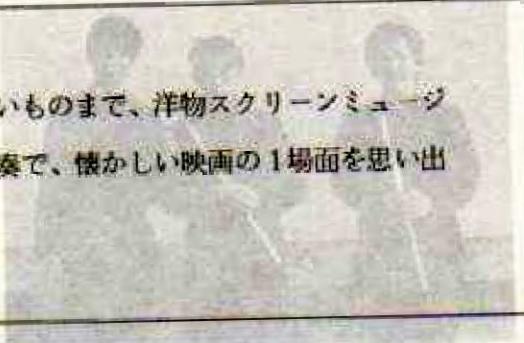
この作品は、1979年の全日本吹奏楽コンクールの課題曲です。きっと、ご存知の方が多数いらっしゃると思います。

「幼い日の思い出」みなさんにはどんな思い出があるでしょうか？ 楽しかった思い出、うれしかった思い出、悲しかった思い出、苦しかった思い出など…。今日はそんな思い出を、私達の演奏で“ふっ”と思い起こして頂けたら幸いです。

第 II 部

懐かしのスクリーンミュージック

ちょっと懐かしいものから、すごく懐かしいものまで、洋物スクリーンミュージックを集めてみました。果たして、私達の演奏で、懐かしい映画の1場面を思い出させて頂けますでしょうか……。



第 III 部

アルメニアンダンス

現在マイアミ大学の作曲科の教授であるアルフレッド・リードが、イリノイ大学バンドの依頼によって1972年の夏に作曲しました。初演は1973年1月10日同大学で開かれた。全米大学バンド・ディレクター協会のコンベンションの席上で、指揮はハリー・ビジン、演奏はイリノイ大学バンドでした。

4楽章の組曲として作曲され、1楽章を第1部、2楽章から4楽章を第2部とされています。原曲はアルメニア音楽の蒐集家、ゴミダス・ヴァタベッドのアルメニア民謡からとられたものです。

第1部には“あんずの木・やまうずらの歌・ホイ・私のナザン・アラギアズ・ゆけ、ゆけ”という5つの民謡が自由に使われています。

第2部は、第2・第3・第4楽章にあたるものですが、出版社が異なるので、改めて1・2・3楽章と印刷されています。

第1楽章 農民の訴えをもとにした曲で、農民が山に向かって「風よ吹け、そして私の悩みを吹きとばしてくれ」と祈る曲です。

第2楽章 結婚の舞曲でアルメニアの田舎の村の、素朴な結婚を祝う曲です。

第3楽章 “ロリからの歌”です。これは、農民の労働の歌からとられたもので、序曲は西暦前にもさかのぼる古い歌です。主部は第1部の後半の部分によく似ています。木管・金管共にエキサイティングに盛り上げ、中間部で5/8拍子となり少しゆっくりし、6/8拍子の舞曲風な曲になり、再び2/4拍子の早いテンポに戻って華やかに曲を閉じます。

パートの横顔



Piccol, Flute

僕達Pic & Flは、2年1人と1年2人の男3人です。パートリーダーは1年生を怒鳴り、あげくのはてに首を絞めるなどしながら楽しく練習しています。この3人はとても仲が良く、クリーニングペーパーを買うにも3人で分割して、5円多い、少ないとかでもめてます。そして木曜日だけは「スケバン刑事」を見る為に急いで帰る僕達なのです……！？

Clarinet

我がClarinetパートは、気まじめで、心やさしい先輩と、誠実で、理解力の優れた後輩とで構成され、Clarinet演奏はもちろん、その巧みなコンビネーションのすばらしさは、言うまでもない……。と、一度でもいいから、言われてみたいものです。でも、毎日が明るく楽しいパートなのです！



Saxophone, Basson

Saxは黒3点+紅1点、Fg黒1点で構成されてたりする。Sax組はいつも一人一人バラバラに練習していて、まとまりのないパートかと思えば、アンサンブルコンテストに出場してしまったりする。よくわからないパートだ。そんな私達を尻目に、ひたすら真面目ぶりっこしているFgくん。でもみんな想いは1つ。「今日の演奏に懸けてます！」

Horn

ホルン、それは夢い、ある時はホールに響き渡る雄大な音を醸し出す、繊細で人々の心に安らぎを与える。またある時は雷雲のごとくうなりをあげ、人々に恐怖と絶望を与える…。という楽器を、私達は吹きこなすことができるでしょうか…？ 吹奏楽部創立以来初めての女性金管奏者を迎えて、はりきっている私達の演奏に御期待あれっ！？





Trumpet

わがトランペットパートは、はっきり言って田舎者の集まりである。なにせパートリーダーが大鶴、1年2人が小湊鉄道の牛込と馬立から来てますから。だから根性は、他のパートよりもあるつもりです。しかし、だれ1人として田舎者と思わずシティーボーイづらして今日の演奏会がんばります。最後までパワーある偽シティーボーイの演奏を聞いて下さい。

Trombone

電気のこぎりのような音とこけにされ、根暗パートとバカにされ、千工吹のガンと呼ばれつつ長年、屈辱に堪えてきた。今日、その汚名を晴らすべく我々3人は立ち上がった。この日の為、血のにじむような特訓を重ねて来たのである。スケベなお兄ちゃん村上、若社長一揆こと佐藤、数々の伝説を生んだ男?鈴木。諸君、この男の活躍を見ていてくれ!!



Euphniun,Tuba

Euphの神を目指し修行を始めてはや3年とうとう神になれなかった田中。おしゃべりだけはケチらないケッラー田中。今日はEuphの神を御迎えして、心強いこのパート。TUBAはというと、1年の途中CIを追い出された為、しかたなくこのパートに移籍した戸部。まだまだ未熟でこちらもTUBAの神を御迎えしての演奏。こんな情けない3人ですがどうか暖かく見守ってやって下さい。



Percation

3年 たこちゃん、2年 宏くん、すどさん、1年 ばら子ちゃん よしくん。これがレバークラスのメンバーです。冬休み、教室のストーブを使い、おしるこを作って食べ、家族的雰囲気で練習するのです。当然、上手くなりそーなんですが、帰りのミーティング中こそと帰り仕度をする、私たちの演奏はいかがなものでしょうか?



千工 Brass Band Member

[Conductor]	白尾 健治	[Percussion]
[Bandleader]	勝股嗣史	[Drum]
(司会)	山本 加奈美	山本 義彦
	吉田和夫	
(Piccolo & Flute)		(Trombone)
☆鈴木昭人(2)	☆高野真須子(3)	☆鈴木裕之(2)
鶴沢真吾(1)	浜田信治(2)	佐藤一起(1)
末吉俊之(1)	魚路信行	村上勝(1)
吉江恭一郎	(Tenor-Saxophone)	鈴木啓介
(E♭-Clarinet)	大木康弘(3)	藤本喜弘
星野愛子(2)	(Bariton-Saxophone)	(Euphium)
(B♭-Clarinet)	山内健二(2)	☆田中弘昭(3)
☆鈴木宏則(2)	(Horn)	田中克利(1)
星野愛子(2)	☆勝股嗣史(3)	大岩忠義
安藤清孝(1)	三輪英則(2)	(Tuba)
中島昌弘(1)	小関勝(1)	☆戸部清考(2)
田中治子	星千佳子(1)	清水芳明
大橋政治	(Trumpet)	齊藤周平
栗原秀裕	☆武内昌徳(3)	(Percation)
鈴木啓治	内藤健一(1)	浅沼久美子(3)
森谷照夫	山下勝之(1)	石井宏(2)
木原保治	加藤誠	須藤謙二(2)
(Bass-Clarinet)	長谷川進	桑原佐和子(1)
成田清人		林義典(1)
(Bassoon)		益満章
☆滝沢清久		広瀬陽一

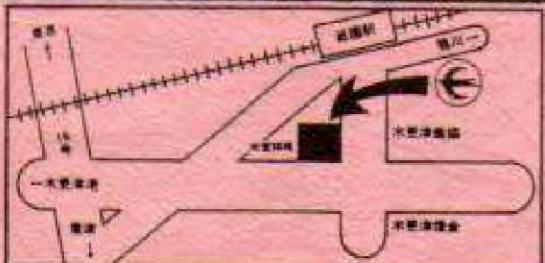
食肉販売業

(有)渡邊商店

千葉市栄町38-11 渡邊ビル 1F

TEL 0472-27-7531㈹

まごころサービスの
ニチメン石油株式会社



木更津清見台サービスステーション

木更津市清見台1-17-16

TEL(0438)23-2369

紳士・婦人・衣料品

⑥ マルマン洋品店

木更津市清見台1-4-18

TEL 0438-25-0013

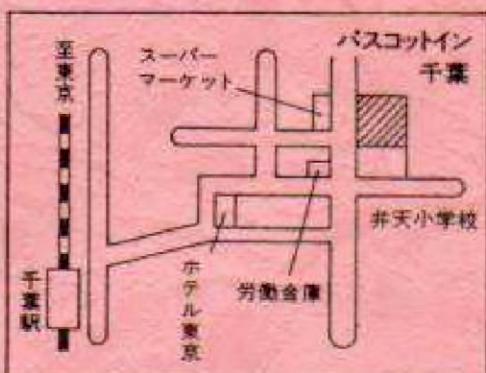


千葉市中央3-6-10

TEL 0472-21-0622

NECマイコンショップ&テレホンショップ バスコットイン千葉

ニューメディア時代に対応する
あなたの街の身近なショップ
バスコットインは、
あなたの右腕を創造します。



バスコットイン千葉
千葉市弁天町279-1
TEL 0472-53-8771

日興通信(株)千葉支店
TEL 0472-56-1111